第49回 つべつ夏まつり

第49回つべつ夏まつり（津別町開町100年記念事業）が、7月6日・7日の二日間、津別河岸公園で開催されました。

6日の前夜祭は、津別在住の音楽ユニット・ホラネロのライブ演奏や豪華景品が当たる大もちまき大会など様々な催しが行われました。36回目を迎えた千人おどりでは今年も踊り手の大きな輪ができ、呼び物の花火大会では、見事な光の芸術が夜空を彩りました。

好天に恵まれた7日の本祭は、多くの人が出店を訪れ、芝生ではつべつ和牛に舌鼓を打つなど思い思いに夏の一日を満喫しました。

また、HBCラジオの公開録音も行われ、お笑いコンビ・メイプル超合金と歌手・岡本真夜さんのステージで盛り上がりました。

美しい歌声で観客を魅了した岡本真夜さん

会場を沸かせた人気お笑いコンビ・メイプル超合金

出店には多くの人が列を作りました

子どもたちに大人気のスマートボール

ホラネロのライブ演奏

川のぼり大会には58人がチャレンジ

今年も大きな踊り手の輪をつくった千人おどり

大もちまき大会は大盛況

地方創生の取り組み 22

地方創生の取り組み 第2ステージへ

6月21日、2020～2024年度も継続して地方創生に取り組む方針が国より示され、この5年間の取り組みを継続することを基本としつつ、新たに「地方へのひと・資金の流れを強化する」「新しい時代の流れを力にする」「人材を育て活かす」「民間と協働する」「誰もが活躍できる地域社会をつくる」「地域経営の視点で取り組む」ということを重点に置くよう示されました。

このような視点を意識し、このすばらしい津別町を次の世代に残していきましょう。

北海道大学の学生団体HALCC（ハルク）が今年も津別で活動します

4期目となる今年度は、過去最多の参加となった昨年に引き続き、25名程の学生が参加してくれることとなり、6月29日から30日の2日間で今年度参加学生のうち14名が来町して町内での視察や、行政職員・津別高校の教員を交えて今年度の事業展開について打合せを実施しました。

元々HALCCは、「北海道の学生が、北海道の地方創生について考える機会が少ない」という問題意識から誕生した団体であり、昨年までも津別の特産品販売を通じて町のPRを行うと共に、地元の魅力を再発見する【北大マルシェ班】、町の課題とその解決策について考え、若者の意見をまちづくりに反映すると共に、次世代のまちづくりの担い手を育成する【若者議会班】など津別高校との連携事業や、北大生の単独事業として、「津別を学ぶ」をテーマに、点在する観光資源や体験型観光をストーリー化した子ども向け体験型教育プログラムを作成し、津別ファンの獲得を目指す【津別留学班】などの事業を展開してきました。

今年度についても前年実施した前述の事業については継続して実施していく予定であり、これらにプラスして、町のイメージキャラクターである「まる太くん」を活用して津別町の認知度アップや地域の活性化などを目的とした活動を行う班や、新規企画として津別町のニーズに沿った活動を進めていく班など、5つ程度の班で活動していく予定であり、うち3班は津別高校との連携事業を想定しています。

夏から秋にかけて複数回来町の予定で、津別高校生も北海道大学を訪問する予定です。12月頃には町民向けの最終成果報告会も予定しています。

▲町内視察の様子

▲各班のリーダー達

8月16日に空き家相談会を開催します

昨年7月に空き家相談窓口の開設、10月には空き家バンクがリニューアルされるなど津別町空き家情報登録制度への登録者が増えており、すでに物件の売買や賃貸など利活用が図られているところです。

町内にはまだまだ利活用ができる物件がある、また、物件の処分にお困りの方もいると感じており、今年度も空き家相談会を開催します。是非お気軽にご来場ください。

※詳細は折り込みチラシをご覧ください。

問い合わせ先
住民企画課地方創生係
☎76－2151（内線241）
e-mail：
tsubetsu.sousei@gmail.com

《津別町空き家バンクの利用状況》

・登録物件数

建　物	貸したい	1件
	売りたい	10件
土　地	貸したい	0件
	売りたい	10件

・物件を探している登録者数

建　物	借りたい	13名
	買いたい	9名
土　地	借りたい	0名
	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。
https://www.tsubetsu-estate.com/

【問い合わせ先】
北海道つべつまちづくり株式会社
移住・定住サポートデスク　☎77－6081